

【テーマ②】伏尾台地域官民連携事業可能性調査事業

【調査主体】大阪府池田市(人口10万人)

調査目的・概要

- ・本調査は、高齢化・人口減少が進行する池田市伏尾台地域において、旧伏尾台小学校や阪急バス営業所跡地などの遊休施設を活用し、官民連携による地域活性化の可能性を探ることを目的とする。
- ・企業誘致や居住促進、地域コミュニティの再生を図るため、施設整備・運営の妥当性や事業スキームを検討し、持続可能なまちづくりのモデル構築を目指す。

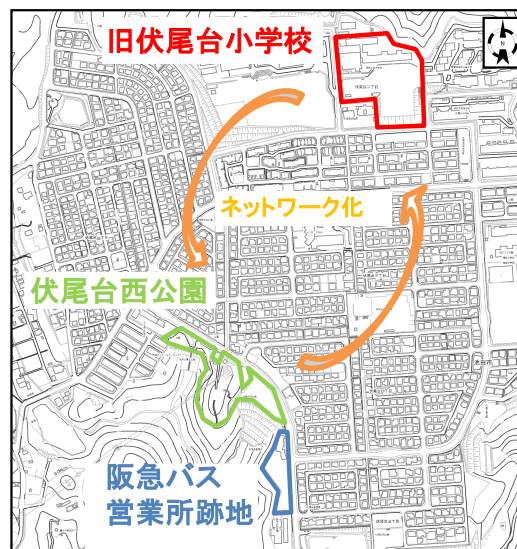
調査内容・スケジュール

○旧伏尾台小学校および阪急バス営業所跡地・伏尾台西公園を対象に、官民連携による地域拠点形成の可能性を検討するもの。

○調査では、施設の現況確認や関係法規の整理、住民・企業へのヒアリングを実施し、地域ニーズの把握と機能の検討を行う。また、施設を活用した社会実験イベントを通じて、地域外からの来訪促進や活用の実効性を検証する。

○旧小学校と営業所跡地を結ぶ拠点間のネットワーク化により、地域内交流の促進と新たな価値の創出を目指す。

○調査結果は、今後の施設整備計画や官民連携スキームの構築に反映し、持続可能な地域運営手法が見いだされることを期待する。



現状分析

- ・地域課題、法規制等の整理
- ・施設現況、住民等意向調査
- ・民間資本活用可能性と課題の整理

社会実験イベントの開催

- ・来訪者の関心を喚起
- ・遊休施設の試験的な活用
- ・アンケートからニーズ分析
- ・施設の導入機能整理

施設活用の可能性検討

- ・導入施設の設置可能性調査
- ・核となる企業のサウンディング
- ・学校体育館の活用検討
- ・必要な設備・運営方式の整理

官民連携事業スキーム構築

- ・拠点のネットワーク化に向けたモデル検討
- ・民間資本活用への事業者ヒアリング
- ・活用モデルの検討
- ・一体的な施設整備計画の立案

調査スケジュール

調査内容	6月	8月	10月	12月	2月
現状分析					
社会実験イベントの実施					
施設活用の可能性検討					
官民連携事業スキームの構築					

【テーマ②】伏尾台地域官民連携事業可能性調査事業

【調査主体】大阪府池田市(人口10万人)

事業・施設の概要

【事業内容】

池田市伏尾台地域において、高齢化・人口減少対策として遊休地を活用し、官民連携による拠点形成の可能性を調査する。

【目的】

地域の認知度向上による企業誘致と居住促進を目的に以下を調査・検討する。

1. 旧伏尾台小学校の再整備・運営可能性について

- ・起業家のまち「池田」ならではの産官学民連携によるオープンイノベーション拠点の設置を調査・検討。
- ・ベンチャー企業の実証実験の場として活用し、地域課題解決に向けた取組みを推進。
- ・学校体育館を活用した室内型子育て支援施設の設置の調査・検討。
- ・これら施設の官民連携による運営可能性を調査・検討。

2. 官民連携による地域活性化スキームについて

- ・民間資本で再整備予定の阪急バス営業所跡地(本市へR7.4月に寄付予定)と隣接する伏尾台西公園との地域ニーズに応じた一体利用による地域拠点化
- ・2つの特色ある地域拠点のネットワーク化に向けた具体的な事業モデルを検討、実施し、地域住民と誘致企業、来訪者との交流促進による地域活性化を図る。

【対象遊休施設】

- ・旧伏尾台小学校
- ・阪急バス営業所跡地＋伏尾台西公園



事業・施設の課題

地域課題

高齢化率が50%を超える状況を背景に、以下の課題が顕在化している。

- ・阪急バスの減便による移動手段の制約
- ・空き家の増加による地域の空洞化
- ・コミュニティの弱体化による地域活力の低下

施設課題

旧伏尾台小学校はH27年の廃校以降、団体や学校開放委員会による活用が試みられているものの、以下の課題がある。

- ・地域活性化へ資する拠点として、機能が十分に発揮できていない。
- ・施設全体の活用計画等が明確化されておらず、将来の方向性が不透明

検討経緯／事業化スケジュール

【上位計画等】基本構想：無

- ・池田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第3期戦略：R7～11年度)
「産学官連携によるまちづくり」を施策に掲げ、地域のニーズや特色を踏まえた協働をめざす。(R7.3月公表)
- ・池田市都市計画マスタープラン(ver.2: R5～14年度)
地域別構想における伏尾台地域のまちづくり方針では、オールドニュータウン再生に向けた官民連携の事業支援、廃校の有効活用の検討を掲げる。

【地域におけるおもな取組経緯】

- ・住民協働による会議 H28年度に住民参画の「伏尾台地域創生会議」において廃校活用・地域交通・情報発信の3分野を中心に検討開始。
- ・旧伏尾台小学校の活用 H28年度に公設民営のフリースクールを開設。
- ・地域公共交通の改善 H30年度に地域交通に係るシェアリングエコノミー活用推進事業のモデル地区に選定。その後、R1年度にらくらく送迎(住民主体ライドシェア)サービス開始し、R2年度からはMaaS社会実験開始。
- ・公園に関する取組 R1年度に伏尾台6大公園活性化会議を設置。
その内、北中央公園は会議の発意に基づき、R5年度リニューアル整備。

【今後の事業活用想定】

- R6 地域まちづくりアイデアソン開催中
- R7 本調査実施
- R8 R7の結果を踏まえた社会実験、施設整備計画策定
- R9 事業者選定、事業開始